

昭島市 結婚・出産・子育てに関する意識調査 － 結果概要 －

● 調査の目的

昭島市では、将来の人口推計などを分析しつつ、今後5年間で取り組む施策をまとめた「総合戦略」を今年度策定いたします。策定にあたり、市民の皆さんの結婚・出産・子育てに対する意見をお伺いし、昭島市の取り組むべき戦略策定に向けた検討資料として活用するため実施しました。

● 調査設計

調査対象：市内に居住する18歳から49歳の男女個人

抽出方法：住民基本台帳（平成27年7月1日時点）より無作為抽出

調査方法：郵送法（郵送配布－郵送回収）

調査期間：平成27年7月31日（金）～8月17日（月）（8月末到着分まで回収）

● 回収結果

発送数：1,000票

回収数：294票

有効回収数：291票（有効回収率：29.1%）

無効票：3票（白紙、年齢対象外）

● 結果概要を見る上での注意

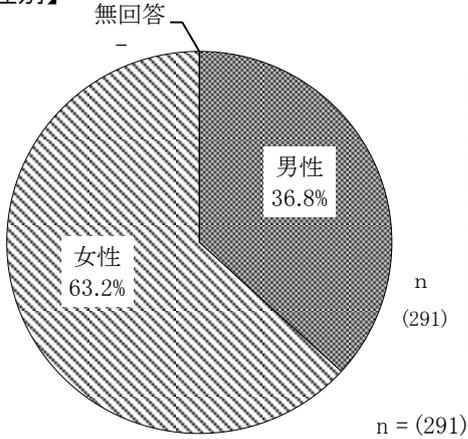
- ・表、グラフ中の「n」は、各設問に対する回答者数を示しています。
- ・百分率（%）の計算は、「n」を分母とし、小数第2位を四捨五入して表示しています。このため、単数回答（1つだけ選ぶ問）においても、四捨五入の影響で%を足し合わせて100%にならない場合があります。また、複数回答（2つ以上選んでよい問）においては%の合計が100%を超える場合があります。

回答者について

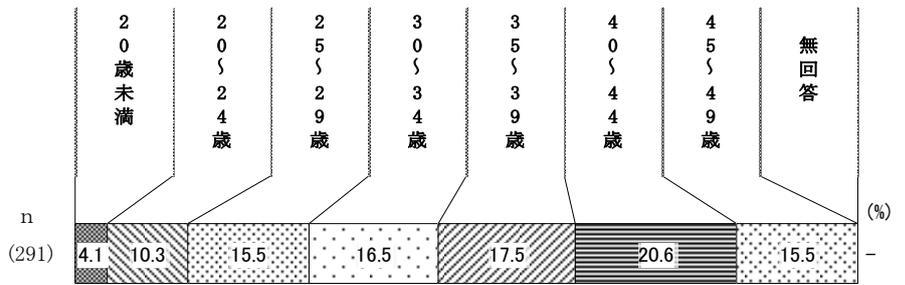
○性別は「男性」が36.8%、「女性」が63.2%で女性の方が多くなっています。

○年齢は、「40～44歳」が20.6%となっており、「20歳未満」が4.1%で最も少なく、それ以外の年齢は1割台となっています。

【性別】

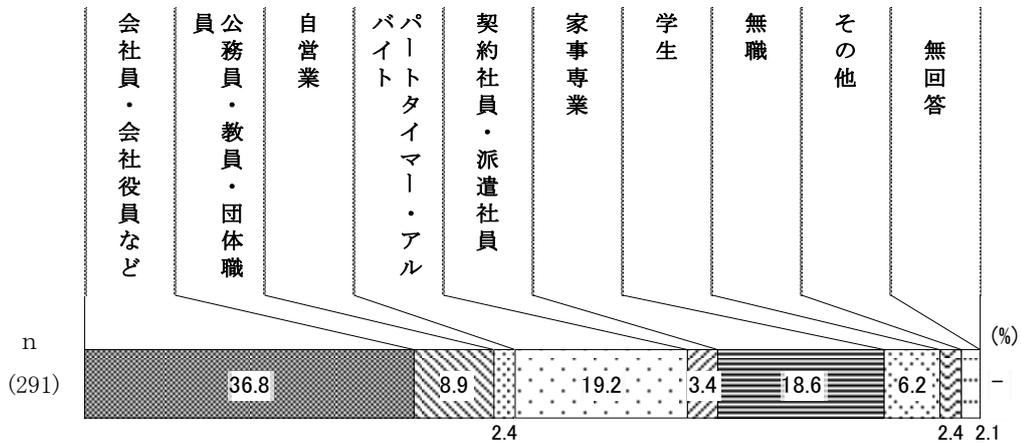


【年齢】



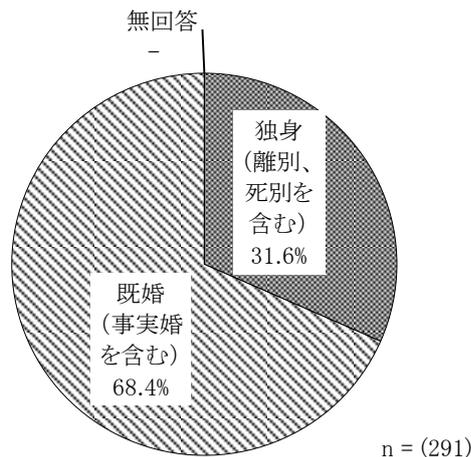
○職業は「会社員・会社役員など」が36.8%と多く、「パートタイマー・アルバイト」が19.2%、「家事専業」が18.6%となっています。

【職業】



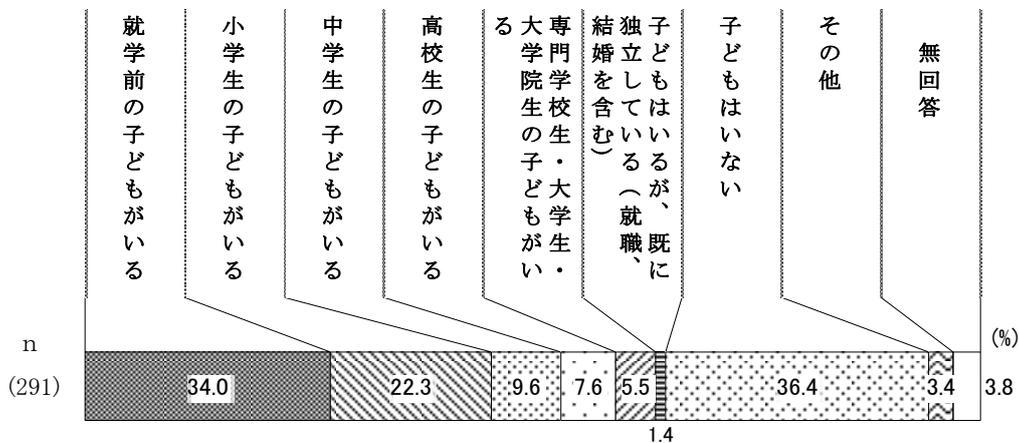
○婚姻状況は、「独身」が31.6%、「既婚（事実婚を含む）」が68.4%となっています。

【婚姻状況】



○子どもの有無は、「就学前の子どもがいる」が34.0%、「小学生の子どもがいる」が22.3%となっています。一方、「子どもはいない」は36.4%となっています。

【子どもの有無】

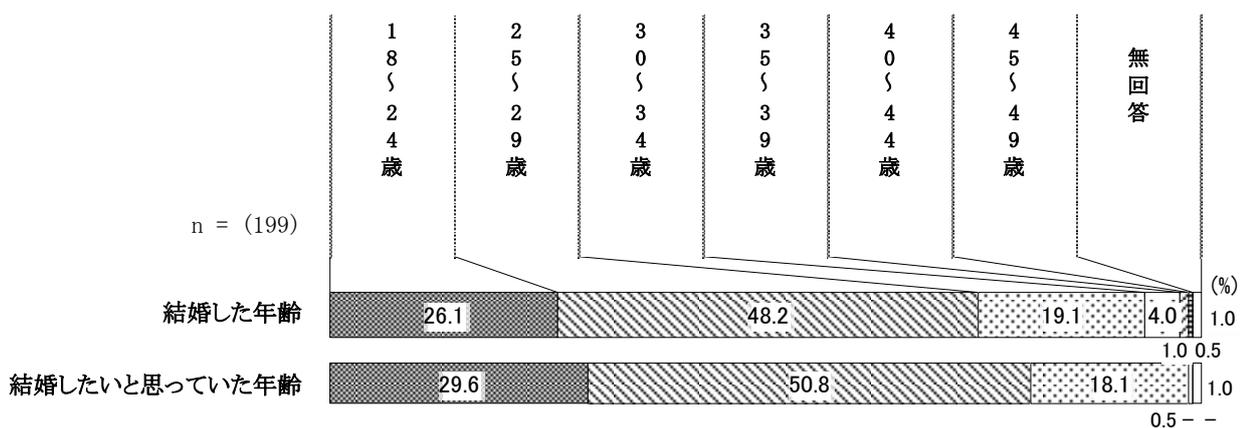


結婚について

結婚年齢と希望していた初婚年齢〔既婚者※〕 ※事実婚含む（以下同様）

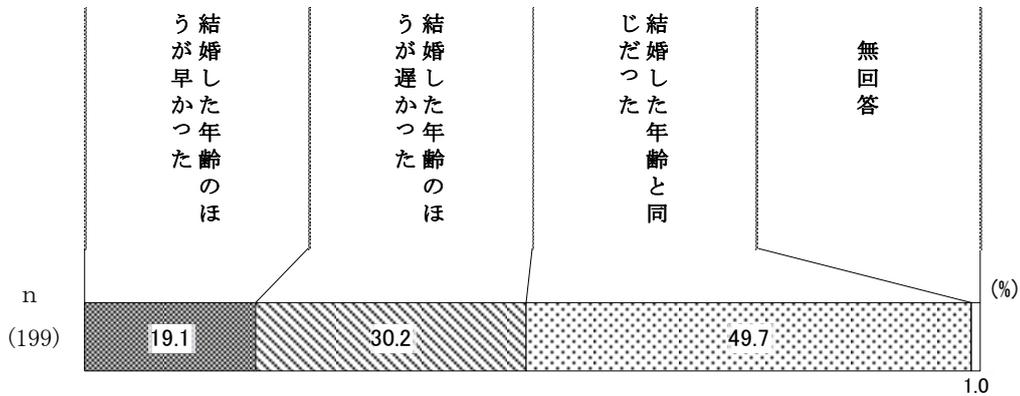
○結婚した（再婚の場合は初婚）年齢は「25～29歳」が48.2%と半数近くを占め、「18～24歳」が26.1%となっています。

結婚したいと思っていた年齢は「25～29歳」が50.8%、「18～24歳」が29.6%となっています。



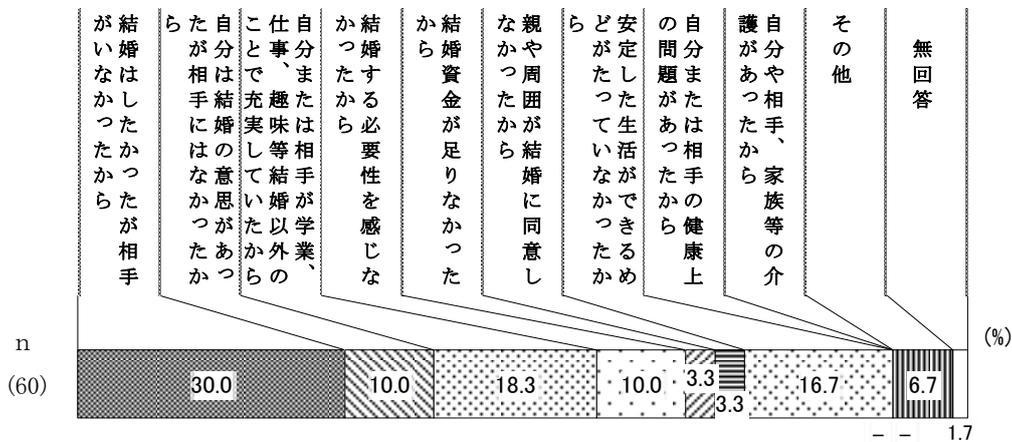
初婚年齢と希望していた初婚年齢との差〔既婚者〕

○結婚した年齢と、結婚したいと思っていた年齢との差は「結婚した年齢と同じだった」（49.7%）が約半数、「結婚した年齢のほうが遅かった」が30.2%となっています。



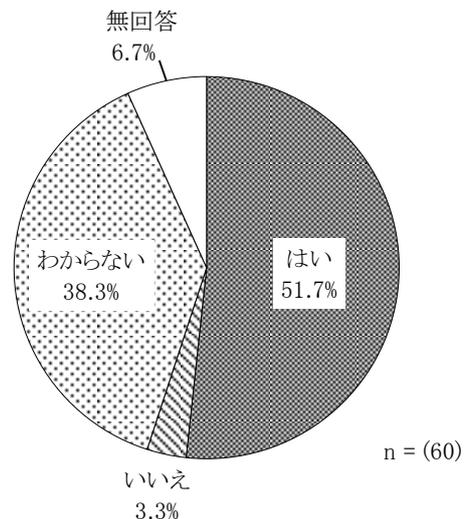
希望よりも結婚が遅かった理由〔既婚者〕

○結婚した年齢の方が遅かった理由は、「結婚はしたかったが相手がいなかったから」が30.0%で最も多く、「自分または相手が学業、仕事、趣味等結婚以外のことで充実していたから」（18.3%）も2割近くとなっています。



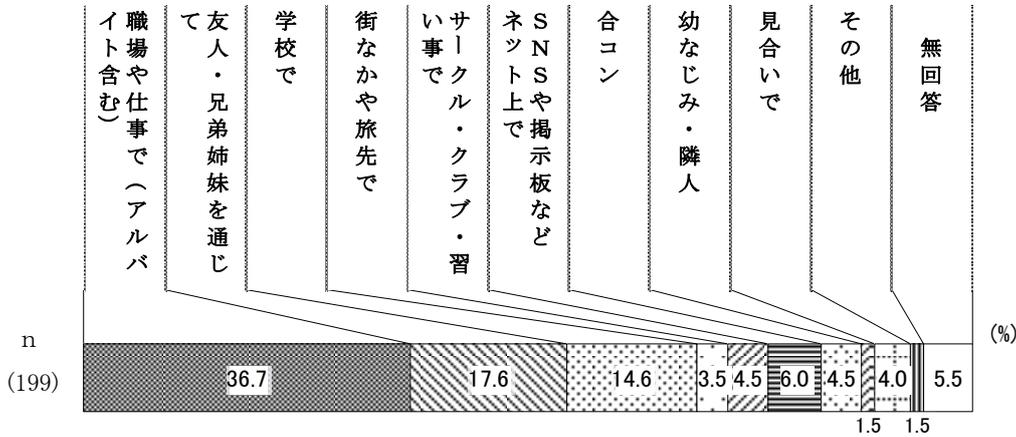
改善の場合の結婚年齢〔既婚者〕

○希望よりも結婚した年齢が遅かった理由が改善されていれば、希望年齢で結婚したと思うかでは、結婚していた（51.7%）が半数以上となっていますが、「わからない」も38.3%と多くなっています。



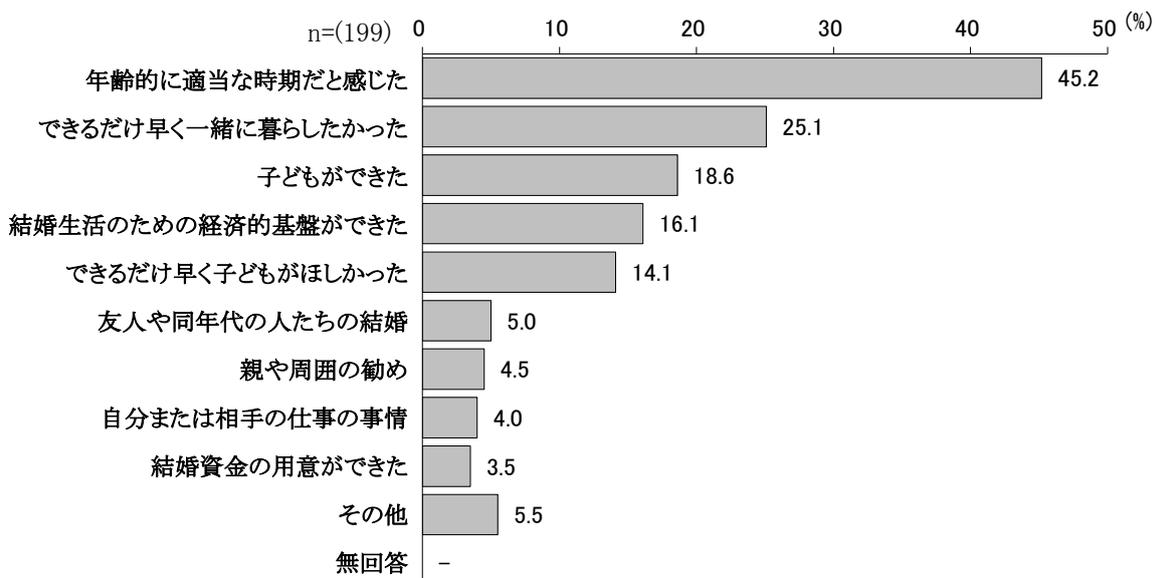
現在の配偶者と知り合ったきっかけ〔既婚者〕

○現在の配偶者と知り合ったきっかけは、「職場や仕事で（アルバイト含む）」が36.7%と多く、「友人・兄弟姉妹を通じて」（17.6%）、「学校で」（14.6%）も1割半ばとなっています。



現在の結婚を決めたきっかけ（複数回答）〔既婚者〕

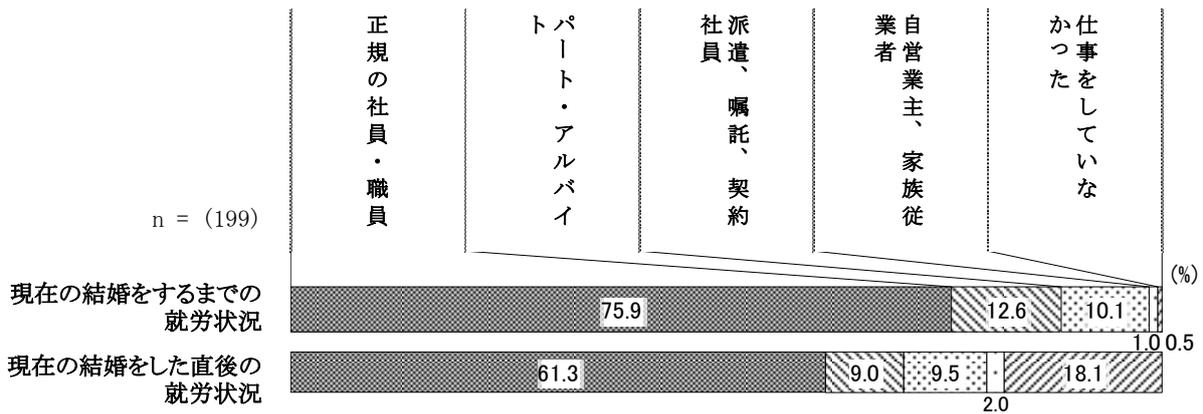
○現在の結婚を決めたきっかけは、「年齢的に適当な時期だと感じた」が45.2%で最も多く、以下、「できるだけ早く一緒に暮らしたかった」が25.1%、「子どもができた」（18.6%）、「結婚生活のための経済的基盤ができた」（16.1%）、「できるだけ早く子どもがほしかった」（14.1%）が1割台で続いています。



結婚前／結婚後の就労状況〔既婚者〕

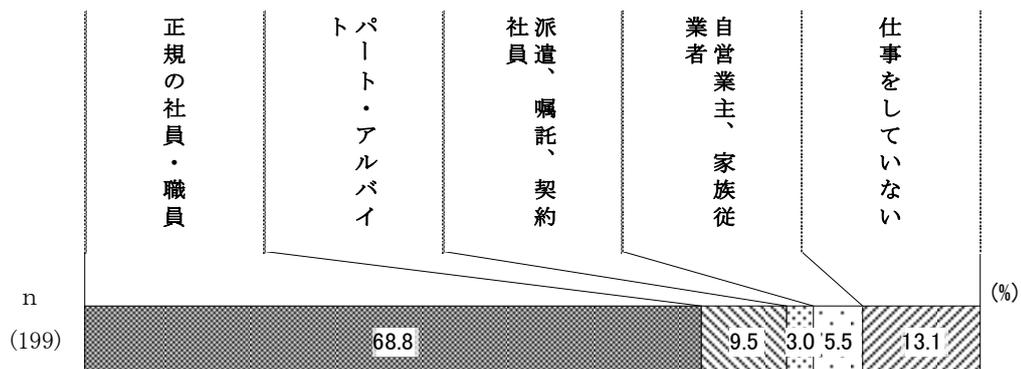
○現在の結婚をするまでの就労状況は、「正規の社員・職員」が75.9%と多く、「パート・アルバイト」(12.6%)、「派遣、嘱託、契約社員」(10.1%)が1割台となっています。

○現在の結婚をした直後の就労状況は、「正規の社員・職員」が61.3%と多く、「派遣、嘱託、契約社員」(9.5%)、「パート・アルバイト」(9.0%)が1割近くとなっています。



配偶者の現在の就労状況〔既婚者〕

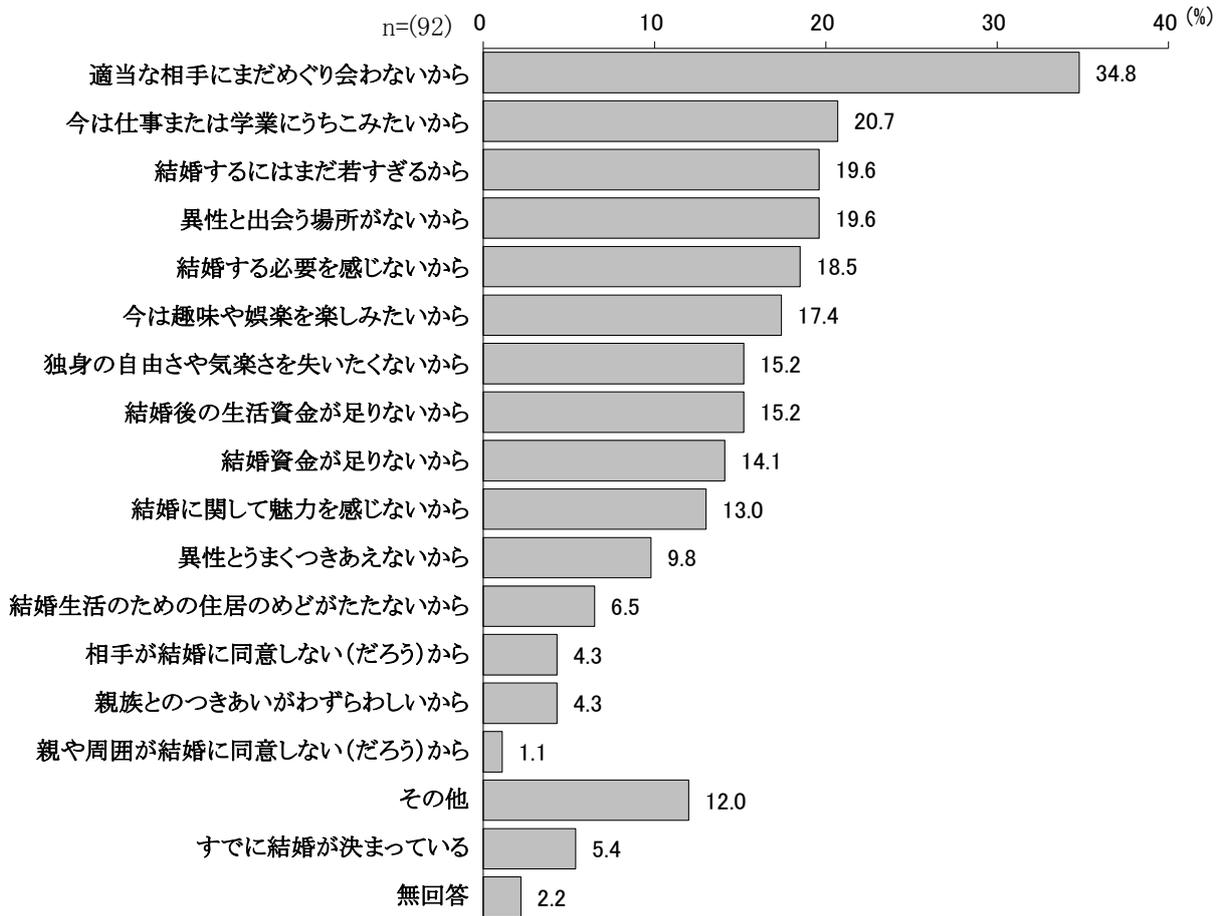
○配偶者の現在の就労状況は、「正規の社員・職員」が68.8%と多く、「パート・アルバイト」が9.5%となっています。



現在独身でいる理由（複数回答）〔独身者※〕

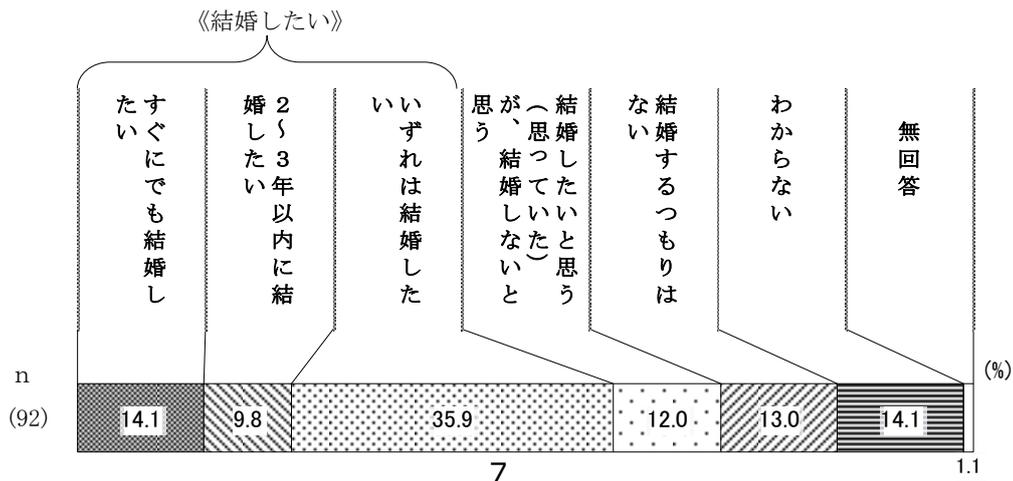
※離婚歴含む（以下同様）

○現在独身でいる理由は、「適当な相手にまだめぐり会わないから」が34.8%で最も多く、以下、「今は仕事または学業にうちこみたいから」（20.7%）、「結婚するにはまだ若すぎるから」、「異性と出会う場所がないから」（ともに19.6%）、「結婚する必要を感じないから」（18.5%）が2割前後で続いています。



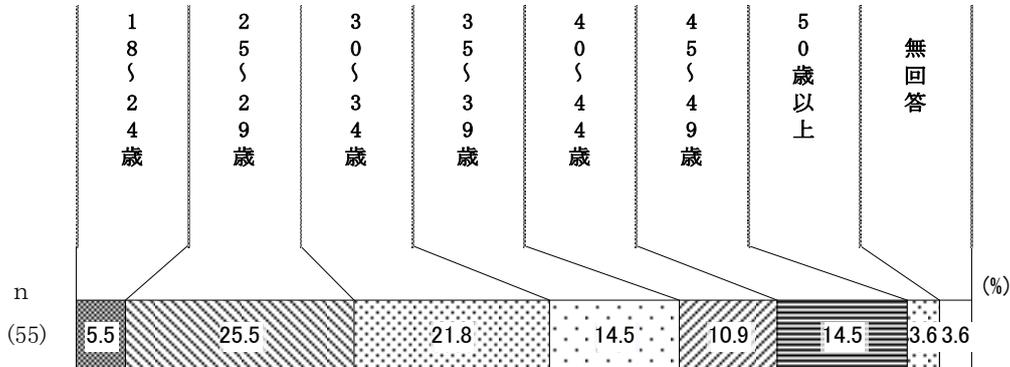
将来の結婚意向〔独身者〕

○将来の結婚意向は、「いずれは結婚したい」が35.9%で、これに「すぐにでも結婚したい」（14.1%）と「2～3年以内に結婚したい」（9.8%）をあわせた《結婚したい》は59.8%となっています。



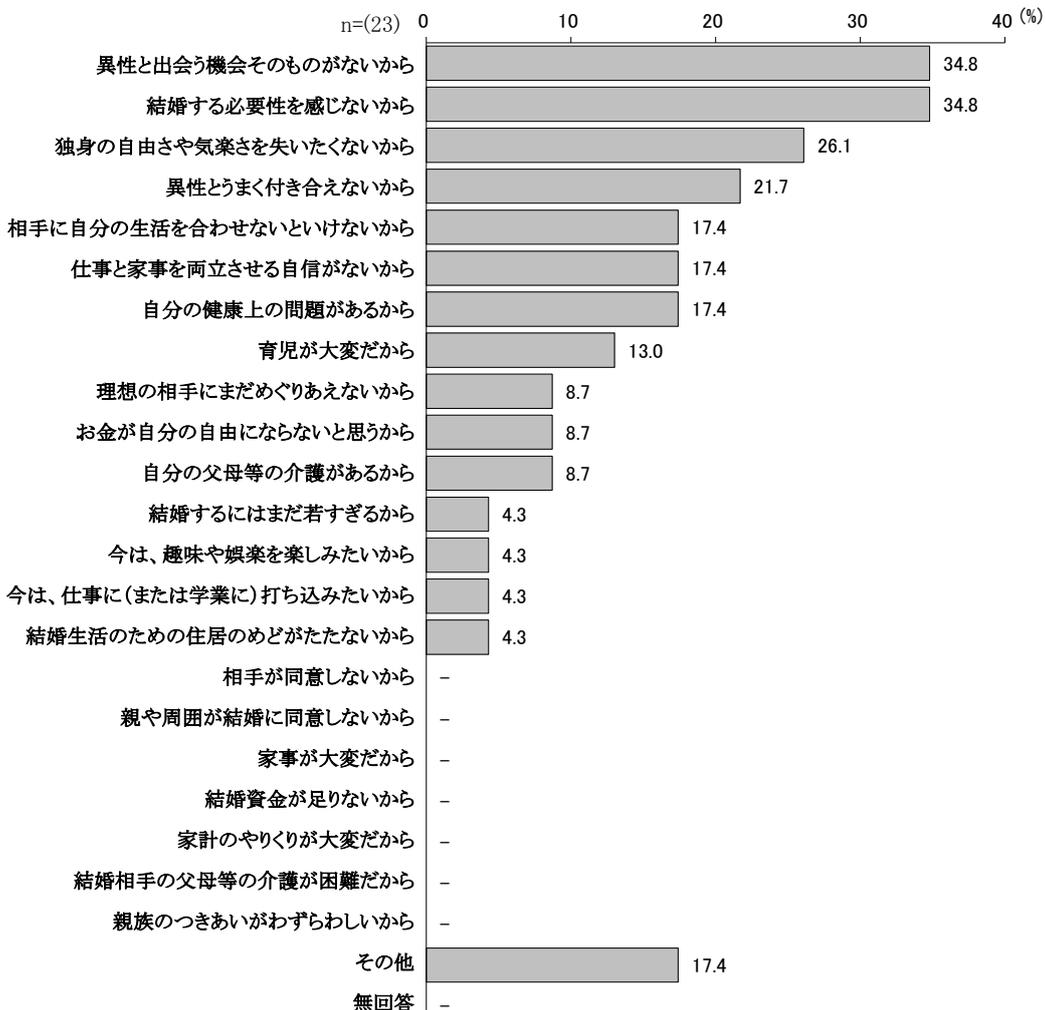
結婚したい年齢〔独身者〕

○ “結婚したい” 人の結婚したい年齢は「25～29歳」(25.5%)、「30～34歳」(21.5%) が2割台となっていますが、40歳以上でも29.0%となっています。



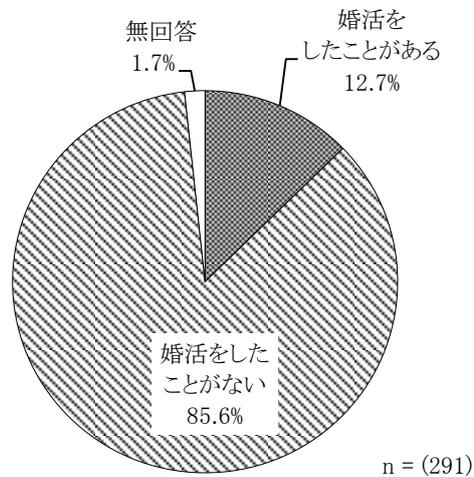
結婚しない理由（複数回答）〔独身者〕

○ “結婚しない” とした人の結婚しない（したくない）理由は、回答者数が少ないため、参考程度となりますが、「異性と出会う機会そのものがないから」、「結婚する必要性を感じないから」（ともに34.8%）が最も多く、以下、「独身の自由さや気楽さを失いたくないから」（26.1%）、「異性とうまく付き合えないから」（21.7%）が2割台で続いています。



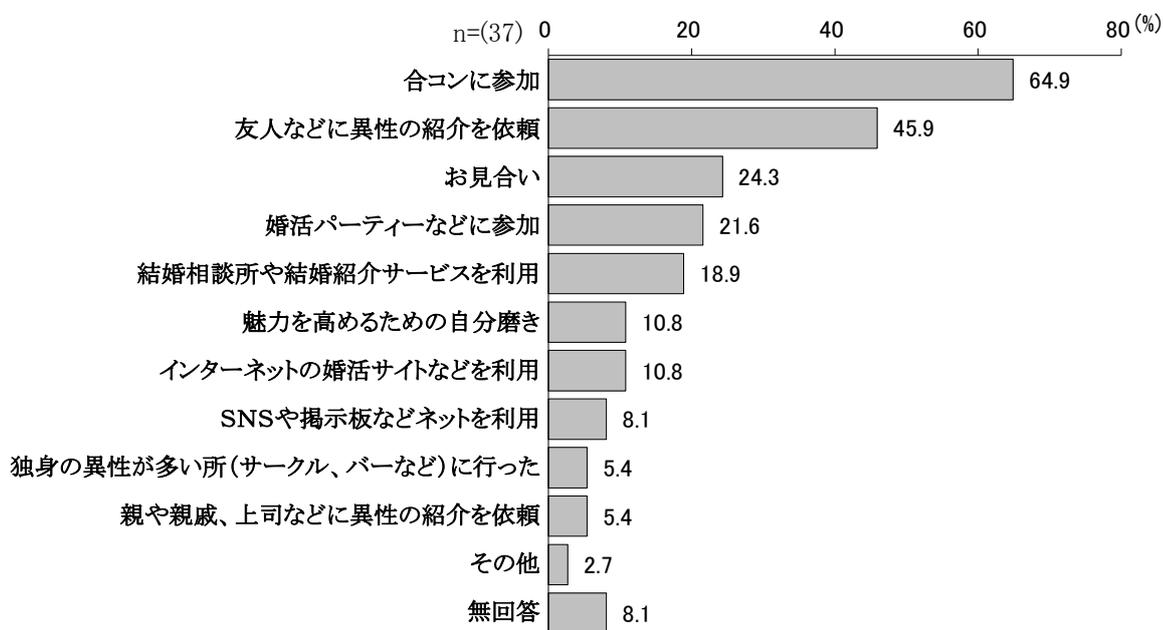
婚活経験の有無

○婚活経験の有無では、「婚活をしたことがない」が85.6%を占めています。



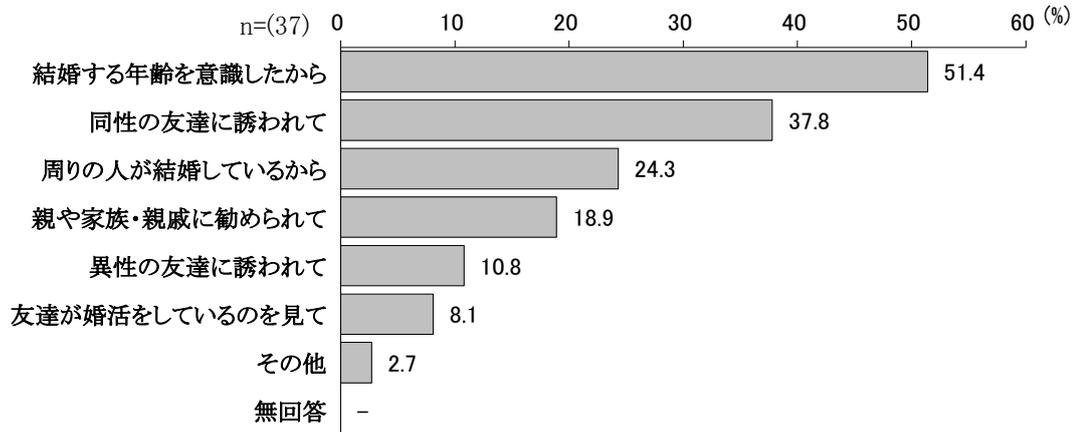
婚活の内容（複数回答）

○“婚活をしたことがある”人の婚活の内容は、「合コンに参加」が64.9%で最も多く、以下、「友人などに異性の紹介を依頼」が45.9%、「お見合い」（24.3%）、「婚活パーティーなどに参加」（21.6%）が2割台で続いています。



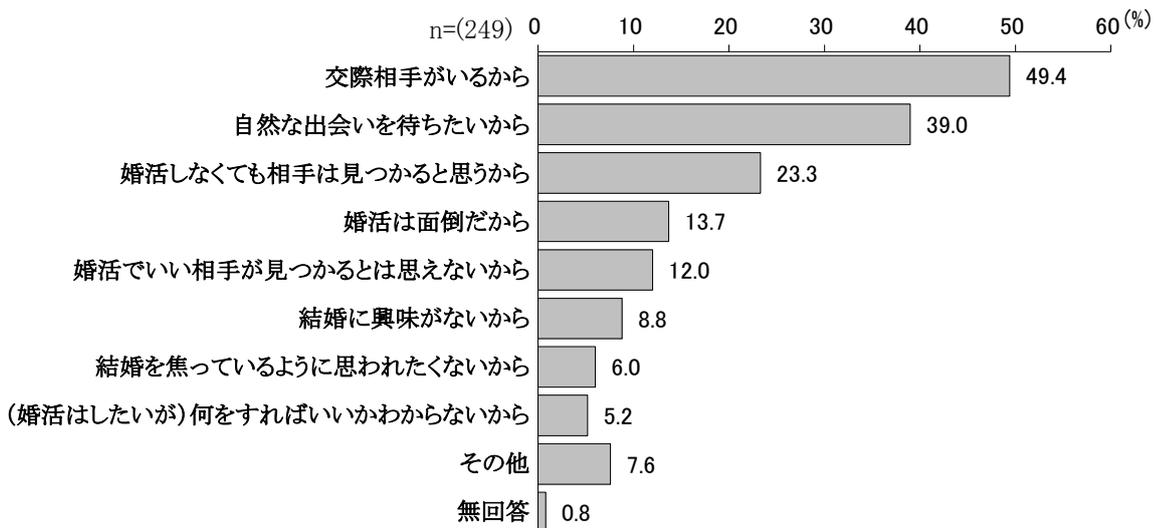
婚活を始めたきっかけ（複数回答）

○ “婚活をしたことがある” 人の婚活を最初に始めたきっかけは、「結婚する年齢を意識したから」が51.4%で最も多く、以下、「同性の友達に誘われて」が37.8%、「周りの人が結婚しているから」が24.3%で続いています。



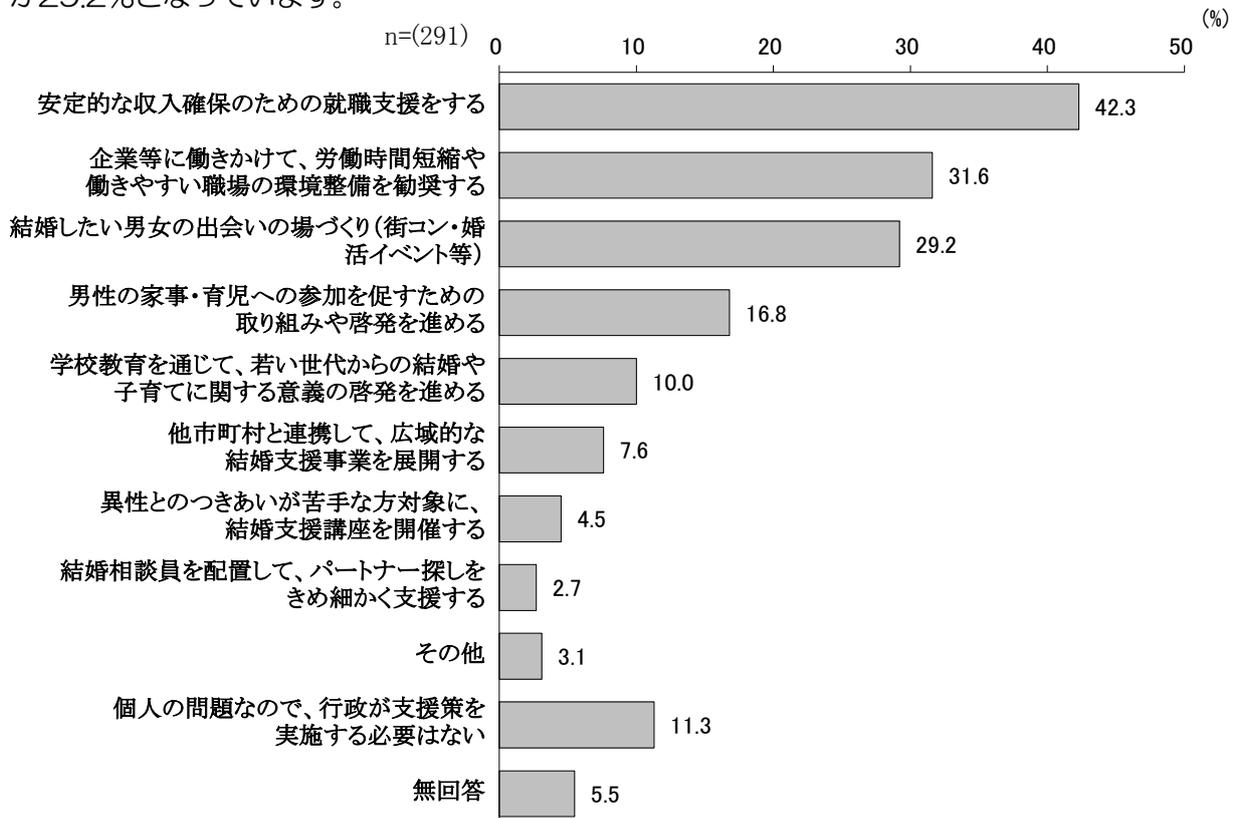
婚活をしない理由（複数回答）

○ “婚活をしたことがない” 人の婚活をしない（しなかった）理由は、「交際相手がいるから」が49.4%で最も多く、「自然な出会いを待ちたいから」が39.0%、「婚活しなくても相手は見つかると思うから」が23.3%で続いています。



結婚支援に関する施策（複数回答）

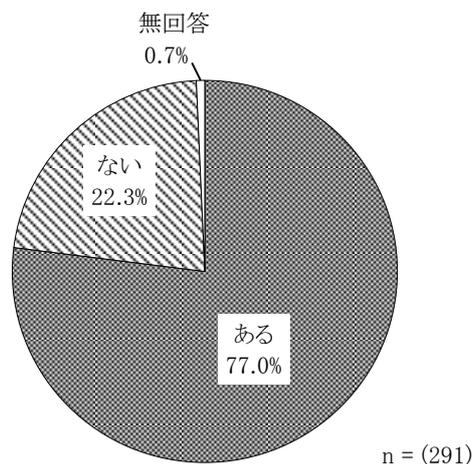
○結婚の支援のために、行政が実施することが望ましい施策は、「安定的な収入確保のための就職支援をする」が42.3%で最も多く、以下、「企業等に働きかけて、労働時間短縮や働きやすい職場の環境整備を勧奨する」が31.6%、「結婚したい男女の出会いの場づくり（街コン・婚活イベント等）」が29.2%となっています。



出産・子育て・家族について

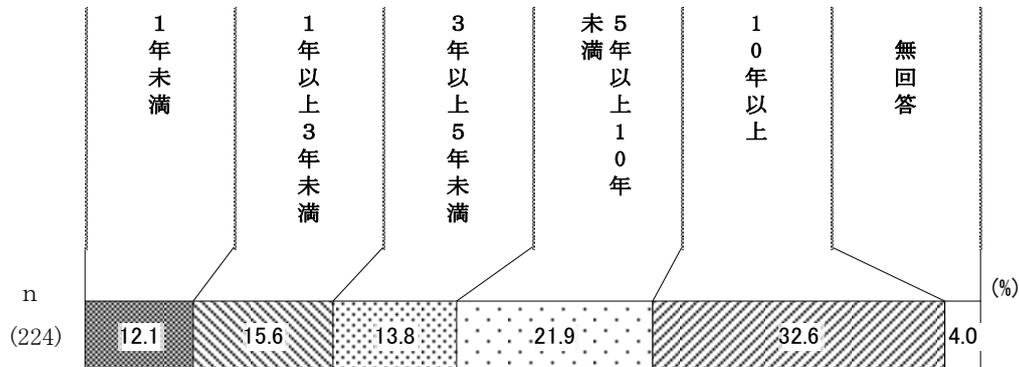
転入経験

○昭島市外から転入の経験が「ある」は77.0%と多く、「ない」は22.3%となっています。



転入時からの経過年数

○転入（直近）してからの経過年数は「10年以上」が32.6%、「5年以上10年未満」が21.9%となっています。

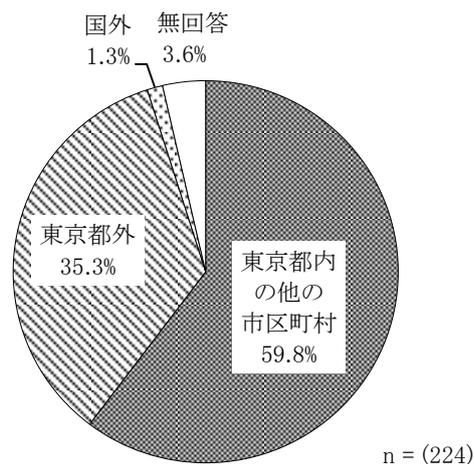


転入前の居住地

○転入前の居住地は「東京都内の他の市区町村」が59.8%、「東京都外」が35.3%となっています。

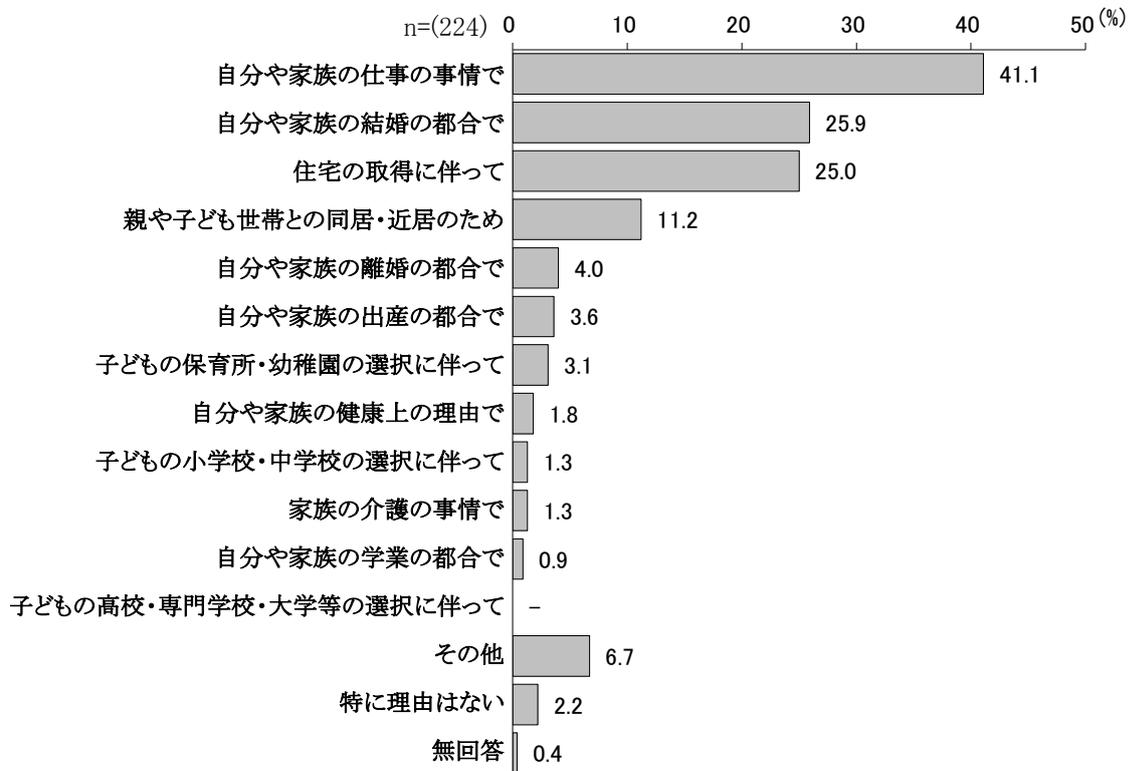
転入前の東京都内の他の市区町村（回答数 133）では、「立川市」が17.3%、「八王子市」が11.3%、「府中市」、「福生市」がともに6.8%、「青梅市」、「日野市」がともに6.0%となっています。また、「23区内」は13.5%となっています。

転入前の東京都外の道府県（回答数 79）では、「神奈川県」が25.3%、「埼玉県」が17.7%、「千葉県」が12.7%と関東地方が多くなっています。



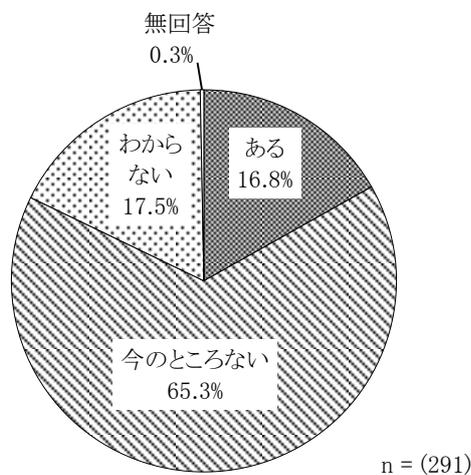
昭島市へ転入したきっかけ（複数回答）

○昭島市へ転入したきっかけは、「自分や家族の仕事の事情で」が41.1%で最も多く、以下、「自分や家族の結婚の都合で」（25.9%）、「住宅の取得に伴って」（25.0%）が2割台で続いています。



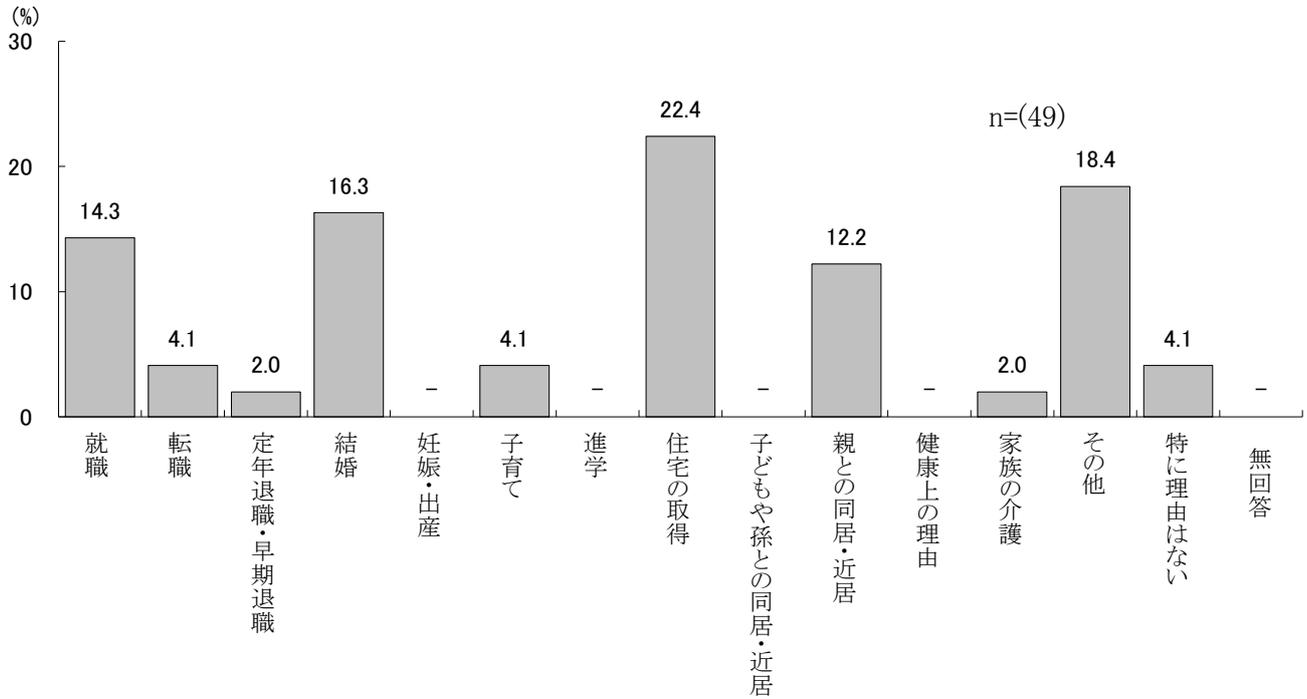
転出の可能性

○今後市外へ転居する可能性が「ある」は16.8%、「今のところない」が65.3%となっています。



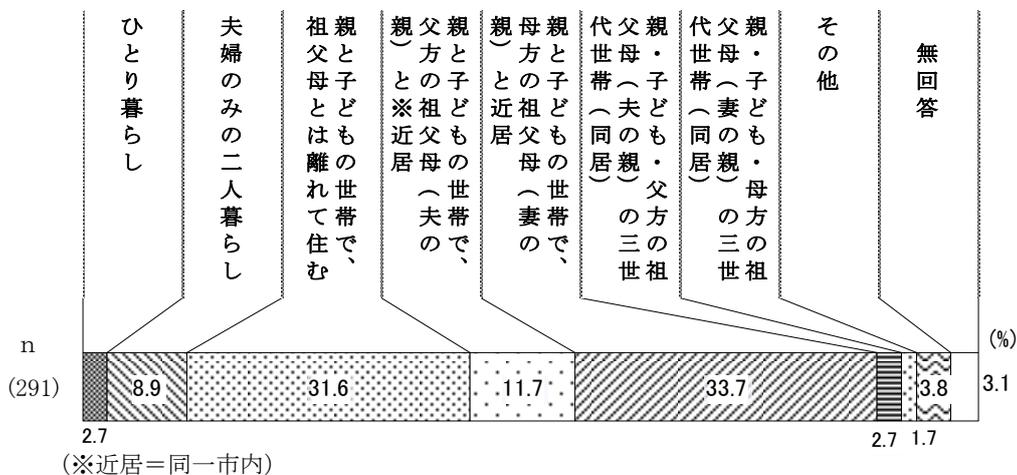
転居のきっかけ

○ “市外へ転居する可能性がある” 人の転居のきっかけとなると思われることは、「住宅の取得」が22.4%で最も多く、「結婚」(16.3%)、「就職」(14.3%)、「親との同居・近居」が1割台となっています。



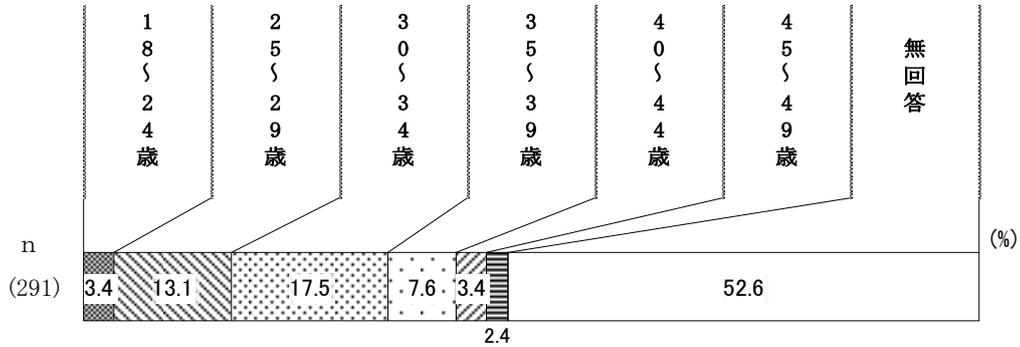
理想の家族の住まい方

○理想の家族の住まい方は、「親と子どもの世帯で、母方の祖父母（妻の親）と近居」(33.7%)、「親と子どもの世帯で、祖父母と離れて住む」(31.6%) が3割台と多くなっています。



子どもをもちたいと思う年齢

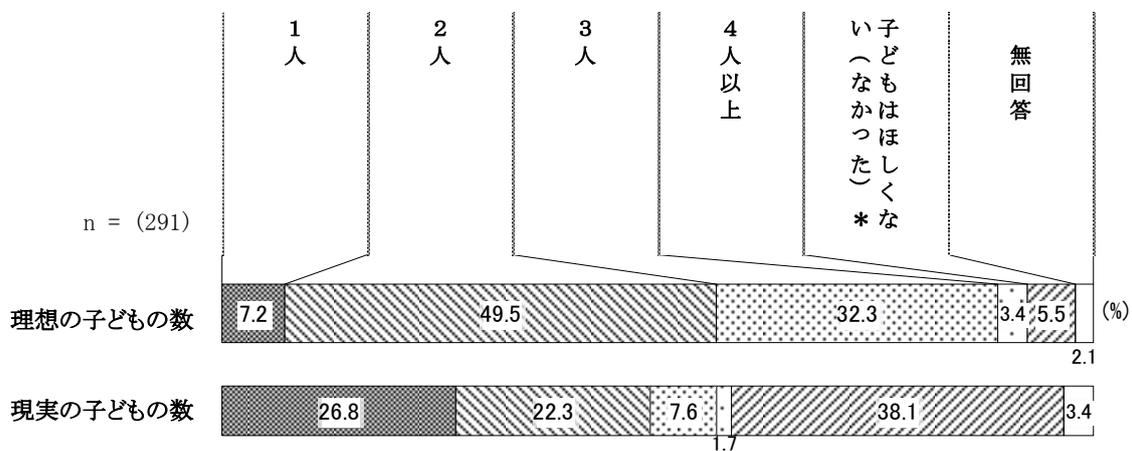
○最初の（次の）子どもをもちたい年齢は、「30～34歳」（17.5%）、「25～29歳」（13.1%）が1割台となっています。



理想／現実の子どもの数

○理想として欲しい子どもの数は「2人」が49.5%、「3人」が32.3%となっています。

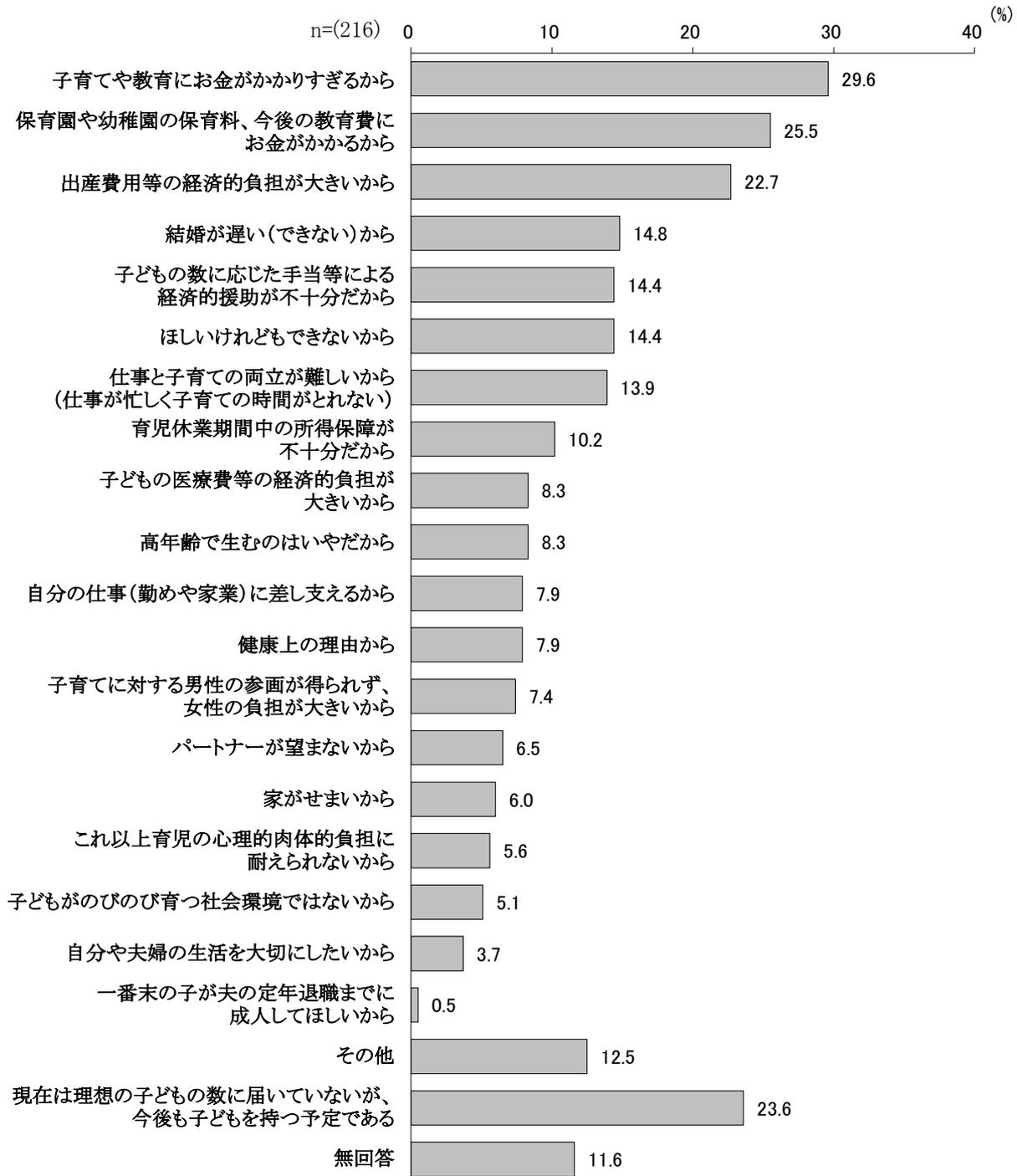
○実際にいる子どもの数は「1人」（26.8%）、「2人」（22.3%）となっています。一方、「子どもはいない」は38.1%となっています。



* 現実の子どもの数の選択肢では「子どもはいない」

理想より現実の子どもの数が少なかった理由（複数回答）

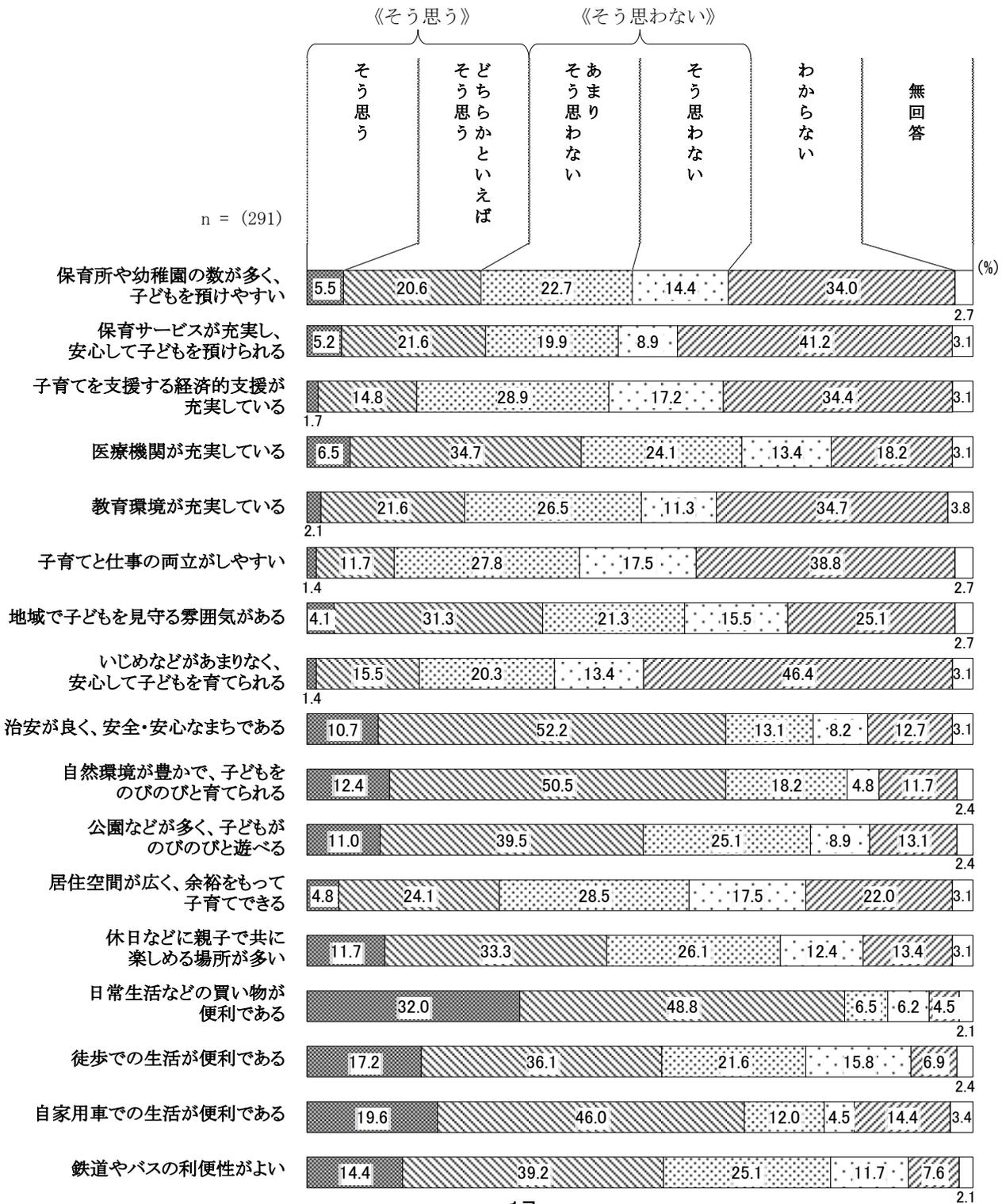
○理想の子どもの数よりも現実の子どもの数が少なかった理由は、「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」（29.6%）、「保育園や幼稚園の保育料、今後の教育費にお金がかかるから」（25.5%）、「出産費用等の経済的負担が大きいから」（22.7%）といった経済的な負担を理由とするものが上位3項目を占めています。一方、「現在は理想の子どもの数に届いていないが、今後も子どもを持つ予定である」も23.6%と比較的多くなっています。



市の子育て環境

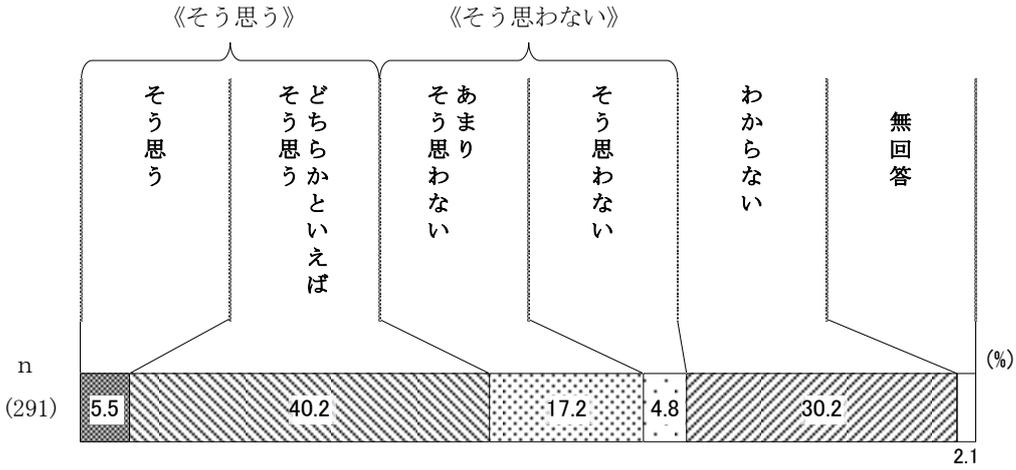
○昭島市の子育て環境についてお聞きしました。《そう思う》（「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」の計）は“日常生活などの買い物が便利である”が80.8%と多く、“自家用車での生活が便利である”、“治安が良く、安全・安心なまちである”、“自然環境が豊かで、子どもをのびのびと育てられる”、“公園などが多く、子どもがのびのびと遊べる”が5割以上となっています。

一方、《そう思わない》（「そう思わない」＋「あまりそう思わない」の計）は、いずれも半数以下ですが、“子育てを支援する経済的支援が充実している”（46.1%）、“居住空間が広く、余裕を持って子育てできる”（46.0%）、“子育てと仕事の両立がしやすい”（45.3%）では4割台で比較的多くなっています。



全体としての妊娠・出産・子育て環境評価

○全体として昭島市は安心して妊娠・出産・子育てができるまちになっているかでは、「そう思う」が5.5%、「どちらかといえばそう思う」が40.2%で、両者をあわせた《そう思う》は45.7%となっています。一方、「そう思わない」は4.8%、「あまりそう思わない」は17.2%で、両者をあわせた《そう思わない》は22.0%となっています。



出生率を上げるために必要な支援（複数回答）

○出生率を上げるために必要な支援は、「児童手当増額など、子育て世帯への経済的支援の充実」（51.2%）、「教育費用や保育料の負担軽減措置の充実」（48.5%）の経済的支援・軽減の2項目が5割前後で多くなっています。以下、「延長保育の拡充など保育サービスの充実」（28.5%）、「企業等に働きかけて、育児休業制度、短時間勤務制度等の普及」（24.4%）、「病気やケガをした子どもを預かれる保育施設の充実」（21.3%）が2割台で続いています。

